



3. 交流人口1,000万人プロジェクト

本市の豊かな歴史・文化・自然資源を最大限に生かした施策に取り組みます。

○観光振興

- ・ 建立100周年を迎える神門通りの大鳥居や、旧JR大社駅等による誘客促進と情報発信
- ・ 映画「縁」を活用した観光PR



映画「縁」制作発表
—出雲大社拝殿前—

- ・ 冬季の誘客対策旅行プランの造成を支援
- ・ 法人化予定の出雲観光協会の機能強化を支援

○文化財の保護・活用

- ・ 国が創設する「日本遺産」認定に向けた取組

- ・ 出雲弥生の森博物館と荒神谷博物館の周年記念イベントの実施

○広域連携

- ・ 中海・宍道湖・大山圏域市長会での観光、産業及び環境分野における一体的な取組

○国際交流

- ・ 市民団体による交流事業や青少年の海外派遣事業の支援

- ・ 多文化共生の取組の支援

○公共交通ネットワーク

- ・ より多くの利用が見込まれるバス交通の運行形態の整備
- ・ 一畑電車の次期支援計画策定の取組
- ・ 出雲縁結び空港の機能強化、名古屋路線等の利用促進
- ・ 尾道松江線全線開通による山陽・四国方面との交流促進
- ・ 山陰道、境港出雲道路、県管理国道や県道の整備促進
- ・ 都市計画道路の整備推進
- ・ 幹線市道、生活道路や下水路の整備

4. 住みやすさナンバー1プロジェクト

市民の皆さんが安心して子どもを育て、働き、暮らせるまちづくりを進めます。

(1) 安全・安心

○安全・安心のまちづくり

- ・ 防災ハザードマップの全戸配布
- ・ 平田、大社、出雲地域でのデジタル式防災行政無線の整備
- ・ 出雲市防災メールシステムの構築
- ・ 地区災害対策本部への防災資機材配備
- ・ 島根原発の安全対策に周辺自治体の意見が反映するよう国に法制度の創設、中国電力に立地自治体と同様な安全協定の締結を要請



- ・ 原子力安全顧問会議の新設
- ・ 広域避難計画の実効性の向上
- ・ 空き家対策のワンストップ窓口の設置や、実態調査による台帳整備
- ・ 通学路安全対策として、市道への転落防止柵や防犯灯等の整備
- ・ 平田消防署庁舎の整備
- ・ 消防団の安全装備の充実
- ・ 斐伊川の堤防改修や宍道湖西岸堤防整備の推進を国に要請
- ・ 新内藤川、赤川等の県管理河川の整備を県に要請

○子育て支援

- ・ すべての子どもが等しく質の高い保育・教育が受けられる環境整備
- ・ 今市幼稚園に特別支援を要する児童受入れ枠を新設



○健康づくり・福祉の充実

- ・がん対策の受診率向上や予防活動
- ・妊娠後に流産等を繰り返す不育症の治療費助成制度の創設や不妊治療費助成の拡充
- ・幼少期からの親子の愛着形成を促す、親子のきずなはぐくみ事業の実施
- ・子どもの発達支援体制の強化
- ・障がい者計画等に基づく福祉サービス
- ・生活困窮者の自立促進支援事業の本格実施

- ・高齢者の自主的な運動習慣づくりや介護予防の促進
- ・高齢者が住み慣れた地域で適正な在宅医療・介護サービスを受けられる医療と介護の連携
- ・マイナンバー制度開始による全市民への個人番号の通知と、希望者への番号カードの交付
- ・市立総合医療センターの救急医療等の提供や予防医療の充実

(2) 人材育成

○教育行政の推進

- ・小中学校の再編は、関係地区の検討委員会と協議を実施
- ・学力向上推進プランに基づく教員の主体的研究や特色ある学校の取組を支援



「なでしこリーグ」昇格をめざす
ディオッサ出雲 F.C.

○青少年の育成・支援

- ・中学校への不登校相談員配置や不登校対策指導員の増員
- ・日本語指導の必要な児童生徒への支援強化
- ・今市小学校校舎等の耐震化対策や、佐田中学校、第三中学校、平田小学校屋内運動場の整備
- ・学校給食での安全・安心な給食の提供や地産地消の推進
- ・子ども・若者支援センターを拠点とした悩みを抱える子ども・若者やその家族の相談、支援
- ・放課後児童対策として、児童クラブの充実や、放課後子ども教室と連携した取組を推進

○市民との協働

- ・市民団体やNPO法人等が市と連携して行う活動への支援制度の新設

○スポーツの振興

- ・スポーツ推進基本計画の策定
- ・地元女子サッカーチームのプロスポーツ化の支援
- ・平成28年開催予定の全国高校総体柔道競技の準備

(3) 環境

○環境のまちづくり

- ・トキの一般公開の検討着手



- ・斐伊川水系の自然環境の保全意識の高揚
- ・ごみの減量化や再資源化、省エネルギーの促進
- ・次期可燃ごみ処理施設の最終的な建設候補地の決定

○新エネルギーの利活用

- ・木質バイオマス等地域資源の活用
- ・水素エネルギーの利活用に向けた検討

○上水道

- ・新向山系基幹管路の整備
- ・向山配水池等の再構築事業の開始

○下水道

- ・公共下水道事業の計画的な推進
- ・阿宮地区での農業集落排水事業の実施

V. 結び

松下村塾で幕末・明治維新に活躍する多くの人材を育てた吉田松陰は、「志定まれば、気さかなり」、目標が定まり決心がつけば、気力が自然にあふれてくるという意味の言葉を残しています。出雲未来図のまちづくりの将来像「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」を我が志とし、さらに気力を充実させ、市政の運営に全力を尽くすことを誓い、新年度の施政方針とします。

おたすね／政策企画課 ☎ 6614